

令和元年第7回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和元年6月24日(月) 午後1時30分～
開催場所 恵那市役所 西庁舎4A会議室
出席委員 教 育 長 大 畑 雅 幸
教育長職務代理者 村 松 訓 子
委 員 鎌 田 基 予 子
委 員 樋 田 千 史
委 員 西 尾 修 欣

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長 安 藤 一 博
事務局長 加 藤 真 治
教育総務課長 西 尾 克 子
教育総務課総務係長 古 屋 恵 子

議 題

議案事項

議案第22号 恵那市教育委員会会議等点検及び評価について

報告事項

報第 1号 小中学校空調設備整備事業について
報第 2号 恵那南地区の学校給食センターの統廃合について
報第 3号 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動について
報第 4号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について
報第 5号 恵那市の園小中学校のトピック(7月)について
報第 6号 恵那市中央図書館月別利用状況
報第 7号 中山道広重美術館月別観覧者数
報第 8号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数
報第 9号 その他

開 会 (午後1時30分)

1 会議録の承認

平成31年恵那市教育委員会第6回定例会会議録の承認がされました。

2 教育長の報告

教育長 この1カ月、教育委員さん方にも行事に参加していただき、同じように見ていただきました。

まずは少年の主張大会です。毎年行われている中、ことしが一番困ったというか、ある意味、レベルが高かったということかと思いましたが、参加いただいた委員さん方、自分の採点でいうとどうでしたか。上位5人ぐらいまでは、聞いてよかったと思いましたが、これがこの後、東濃大会を経て、県大会へ出ていったときに、どういうテーマが少年の主張大会として高い評価を得るかという点で見ると、今回全部そうでしたが、郷土愛が育ち過ぎており、皆さん、自分の地元にかなり入り込んだものが多かったのも、ああそうか、そういう現象も、これもいいかと思いつながりながら聞かせてもらったところです。

この後、東濃大会は、いつも音声だけで審査していましたが、ことしからDVDを視聴していただいて、5人の各市の代表から3人を選ぶそうです。その中で恵那市の代表が選ばれてくれればと願っています。

それから、2つ目の報告です。ことし、現在までに教育長訪問に3校行きました。いずれも小学校ばかりでしたが、1つ共通して思ったことは、いつ何どきでも、学校というのは、科学の発達とともに、自分たちの子供のころでいうとLL教室というのができ、それからパソコン教室になってというように変化しています。随分大きなお金をかけて整備していただいているので、成果を出さなくてはいけない、使いこなさなくてはいけないということです。

3小学校、タブレットを使った授業が1場面もありませんでした。タブレットは最大人数の学級に合わせて、きりがいい30台、40台で配ってあります。それが、いわゆる充電ボックスのような保管庫に入って、パソコン教室の準備室に置いてある状態です。結局それを学校の中でバッテリーしないように調整しながら利用する。日々煩雑な担任の先生にしてみると、なかなかそこまでできないと思います。結果的に倉庫の中で眠っているという状況です。

何とか武並小学校のように、当初は5、6年生だけだったのが、校長の努力で、実際には2人に1台以上設置しているのではないのでしょうか。各教室の後ろのロッカーの上に並べて常に充電してあるため、子供たちが授業のときでも気軽に後ろへ行き、何か調べたいことがあると、それを持ってきて調べるなど、日常的になっています。

保管庫の中に入って倉庫に眠っている間は、なかなか日常化はされないだろうと思います。これを早く日常的になるようにとアドバイスをすると、フロアに1台、2台ある大型テレビジョンを各教室に移動させてセッティングするのに手間かかる。確かにそのとおりですが、早くスイッチ入れればすぐ使えるような状況にしていかななくてはならないと思いました。

大型テレビが普通教室に完備されるのが、本年度の秋ぐらいになるようです。それで、これに加えて、だんだん使い慣れてくる、例えば今の武並小学校でいうと、校長は、教育委員会が購入し配置しているタブレットもアンドロイドではなく、アイパッドのほうが子供たちには合つとると言っています。市長も同じことを言われます。使い勝手の問題です。

それならなぜアンドロイドにしたかという、デジタル教科書の大半がアンドロイドで対応しているものしか出ていない現状があります。デジタル教科書を

使おうと思うと、必然的にアンドロイドなってしまいます。実際に大人がスマートフォンを使うのも同じですが、情報を自分で探してくる、拾ってくるわけです。入れてあるアプリなどで勉強するという考え方、発想から、自分でずっと枝の先まで潜って行って探してくる、拾ってくるという、これが今の大人が使うスマートフォンと同じようになってくると、アイパッドのほうが非常に使い勝手がいいということのようです。

校長先生に聞くと、デジタル教科書と両方使いたいときにはアンドロイドを使う、子供たちで何か探したり、何か創造的なことやったりするにはアイパッドと、両方要るということが見えてきただけでも大分進んできたのかなと思います。市内全体では非常に学校間の温度差が激しいと思うので、もっともっと啓発をしていきたいと思います。

今週、大阪の箕面市の萱野小学校に、現場の先生、嘱託所員も含めて、教育委員会学校教育課、安藤副教育長をキャップに、10人ぐらいで視察に行ってもらいます。視察に行けば、またちょっと指導観が違ってくるかと思っています。教育長訪問が1学期中は、あと9校ありますので、皆さん無理のないようによろしくをお願いします。

6月29日土曜日は中体連もありますので、よろしく願いいたします。

3 教育委員の報告

委員 私の方は、少年の主張大会の感想について、先ほど教育長さんがおっしゃったように、郷土愛が育っていると私も思いました。地域と自分の環境を踏まえて、どう考えていって、どうやって生きていくかという答えを生活の中で見つけている、そんな課題の中で、郷土愛が育っている。これは恵那市の特徴と思うぐらいです。2年連続で県大会にも行っていますが、これだけ郷土に思いをはせているのは、ある意味すごいと思いました。

どうしても、県大会行っても男子生徒は少なく、恵那市もことしも1人でした。そういった傾向は相変わらずかなと感じました。表現力とか、パフォーマンスというのは生まれ持ったものというか、兼ね備わったもので、どこまで自分の意見を上手に伝えるか、どのように各学校で指導されているのかと思いながら聞いていました。

たまたま発表した中で、5人ぐらい知っている生徒がいて、そのうちの3人は、とても人前で発表するというタイプではなく、小学校のときには、自分のクラスの中で意見を言うときにも、ぼそぼそと言って、聞こえませんかと言われ、沈みがちな子でした。

このような大会は、レベルが上がってきていると言われているので、ある意味演じるというか、もっと高いレベルのことを求められるので、その子なりには本当に成長していると感じられたことが、大会に出て、ちょっとほかの子と比べると劣ってしまうというような姿を見ながら、先生方はどうやってここまで指導されたのかなということにすごく興味がありました。

小規模校の生徒もあの人数だから声が聞こえるのであって、みんなの前で発表するときは小さな声しか出ないような女の子ですが、休み時間やお昼休みに体育館で、一番向こうまで届くようにとか言われながら、先生方が二、三人で指導していました。まず覚えて、声を順番に大きくしていき、あと目線を落とさないようにという指導を10日前ぐらいから毎日行い、あの子の精いっぱいが大会で出せたのではないかと、その過程を知っているのと思いました。

それぞれそういう体験ができていくのか、一人一人に、大会までいくのにいろんな葛藤があって、いろんな指導が入って、いろんな思いがあったのだなというようなことを思い浮かべながら聞きました。

会場ですが、恵那文化センターが使えなくて、かえでホールになったのですが、少し小ぢんまりとしていて、よかったですと思いました。何年間に1回はかえでホールでもいいのかなと思いつつ聞きました。

教育長 ありがとうございます。それでは、次お願いします。

委員 私も学校訪問の際のタブレットのことを一番に思いました。三郷小学校にお邪魔して、若い先生が多いというのは何となく意識して行きましたが、校長先生が新任の学校という視点で見させてもらうと、校長先生自体が本当にすてきな方で、こんな女性校長の下で働ける皆さん、特に若い方はいいお手本があって、いい環境だなと思いつつ見てきました。

タブレットに関しては、1場面もなく、授業の中で本当にタブレットのタの字もないという感じで、この現場との乖離というか、教育委員会は市長さんの思いをとにかく現場につなげなければという使命感というか、思いですが、現場に全くそういう思いは伝わっていないと感じました。

使ってくださいと言うだけでは、これは無理なのかなと思いつつ。あれだけ若い先生がいても、タブレットの使用ができない。まだ新年度が始まって間もないということもありますが、先ほど教育長さん言われたように、充電ボックスに収納されていて、それ自体を持ってきてでは、現場ではぴんとこないのかなという、それが現実かと思いつつ。

それでも、どうしたらいいのかというところが私には見えてこないのですが、それは完全に予算面のことになるのですか。

教育長 すぐに普及するとすれば、教科書にタブレットありきで記載されること。教科書の執筆そのものが、タブレットが筆箱と同じように横に置いてあるぐらいの書き方がしてあれば、みんな使うと思います。どうしても教員が黒板とチョーク主体で昔ながらの授業をしている。そこからいろいろなツールを使い切れていないというところが、今教材研究がまだ足りていないということだと思います。

委員 算数でとにかく問題をどんどん解かせるというのは、絶対すぐに使えそうですが、実際にはその場面で使っていないということですね。

教育長 学校によってはすごく使っている学校もあります。

委員 先生方の意識というのは私には分からないのですが、はっきり言って、使わなくてはいけないという意識がないということですか。

教育長 必然性がないです。

副教育長 このほうが便利だという認識を持てば違うと思いますが、そこまで至ってない状況なので、嘱託所員会で一応こんなこともできますよとお示しできればいいかと思っています。

委員 子供が使うといい。兄弟で僕たちは使ったよ、お兄ちゃん達は使っていないのなんて、家庭で話題にするとか。とにかく使うということですね。

委員 私のからは2つです。1つは、教育長訪問で恵那北小へ行ってきました。校長さんの笑顔がとてもすてきで、学校の雰囲気は本当によかったです。職員もよかったです。1つ苦になることは、教育長さんも言われてみえましたが、5人しかいないクラスで、授業中、手を挙げさせて発言させるという場面がありました。

恵那市が、小さな学校がいっぱいある中で、なぜ20人から30人いるようなクラスの授業を展開する必要があるのか。これが本当に先生たちの授業力のなさというか、開拓者のなさというか。5人いれば、例えばAさんには、今先生のこの質問どう思いますかと指名して聞けばいい。Bさんには、今Aさん言ったことどう思いますかで、十分こなせている。一人一人に本当に力がついてくると思います。

授業を見ていて、「わかる人」、「はい」、5人しかいないのに1人手を挙げて。あなたどうしたのと聞けばいい。そうだけれど、手を挙げた子しか当てず聞かないというのは、それは小規模校の学校のよさというのが、悪さになっていってしまう。競争させるとか、いろいろ、小さい学校では競争心がなくなるとか言うが、そうではなくて、先生がなくなってしまうような気がしました。

誰もがもっと、どのクラスでも、どの学級でも、自分の力をつけていかなくてもはいけない。先生たちにそういうパワーが欲しいと思って、ちょっとショックを受けたというか、恵那市に小規模校が多い中で、もう少し工夫をしてほしい。もっともっと一人一人の出番を、表現力をつけるためにとか、もっと活用できないかということを感じました。

教育長さんも、大勢のクラスでやっているような授業展開ではなく、ちょっと工夫してほしいと言われましたが、恵那市にはそういう学校がいっぱいあるので、もっと小規模校にしかできない授業があるはずですので、何か工夫が欲しいなということを感じました。

教育長 大抵校長は、毎日1時間目、2時間目あたりは、廊下を歩きながら、時に後ろのドアから入って、授業を若干止めてしまうことにもなってでも、子供たちの表情を見たり、特に初任者とか、若年の教員の授業の様子を見て回ったりします。校長には見て回るように話もしていますし、やるのが当然だと思いますが、余り指導はされていないかもしれません。

委員 ちょっと一斉授業が多いような気がします。

2つ目ですが、新聞を読んでいたら、プログラミング学習が来年ぐらい入ってきますか。

教育長 来年度から完全実施です。

委員 実施ですね。プログラミングって一体何だろうというのを家庭で話題にして、話していました。いろいろ聞いていて分かったことは、武並小学校の授業を見に行ったときに、特別支援学級の子がタブレットを使って車を動かしていました。前に来なさい、下がりなさい、曲がりなさい、ということパソコンでプログラムしていくことだと。今話題になっているのは、正三角形を使って正多角形をつくりなさいという問題があります。

僕も実際にパソコンでやってみたら、なかなかできない。こっちに何センチ行って、こっちへ60度、60度ではないから120度にしなければいけないと。三角形をつかって、それをずっといくと正六角形になると、そこにプログラムしていくわけです。スクラッチソフトを使ってプログラムすると、すぐできます。すごく嬉しい。手で書けば早いですが、これが子供たちの、何を持ってきて、何を選択して何をやっていくかという、順次とか、分配とか、選択とか言葉を使っていましたが、そういった中で作っていくと面白いと思いました。

それが今度実施されるとなると、タブレットの話ではないのですが、子供たちはどうやってプログラムをしていくか、プログラミングしていくかというのは、教育委員会で指示を出していく立場ではないかなと思います。囑託所員に研究させてみたらどうかと思います。

本来の狙いは一体何か。パソコンを使って動かせばいいというだけではなく、その裏にある、例えば人間の理論性や、筋を通して考えるという力がつくと思います。何か動かせばいいというのではなく、その裏も教えながら技法も教えていく。そういうことが必要だと思います。今のそのタブレットも使えない先生に、今度プログラミングやってくださいといっても、使えるかどうか心配していますが、副教育長からも指導してもらえればと思いました。

委員 少年の主張大会で審査委員を務めさせてもらい、事前に原稿も読み、当日、その様子も見ました。原稿を見る限り、どの子も素晴らしい内容です。このような原稿を書く子供たちの発表に採点をするのは酷だと話をしていました。

しかし、発表の場では、やっぱり違うなという事が出てきます。それを目の当たりにしたわけで、先ほど教育長さんが言われたように、東濃大会、県大会とレベルが上がっていく。そこで賞をとろうとなると、確かに採点は内容が70点でした。しかし、それだけではないものも、大きなウエートを占めてきているのではないかと思います。

当日、審査発表の際にも一言だけ、非常に紛糾したと申し上げましたが、上位の人どちらを最優秀賞にするかを審査員で話し合いまして、結果、北中の生徒になりました。パフォーマンスという表現は合わないと思いますが、表現力というもの、20点の採点以上のものが、今後大きくなっていくと感じました。昨日、沖縄戦没慰霊の日がありました。女の子が10分以上にわたって素晴らしいスピーチをしました。もちろん原稿は目の前に置いているのですが、一切見ることもなく堂々と、今で言う表現力もしっかりしたスピーチをしていました。

少年の主張大会と比べると酷かもしれませんが、例えば県大会ぐらいになると、ああいう子供たちばかりなのだろうと想像しました。

そういう意味で、恵那市の子供たちにもこれからどんどんと、先生方の指導も仰いでいかなくてはいけないなと思いました。発表者の親御さんと話をする機会があり、最初にした原稿から随分と変わっているというようなことをおっしゃっていましたが、本人の言いたいことを極力残しながら、先生から指導があるのだと話しました。

もう一点、かえでホールの広さの雰囲気はいいです。恵南の中学校の合同合唱祭も行われますが、あのぐらいの広さはとてもいいと思います。ただ駐車場が狭いということが難点です。いろいろなイベント利用してもらえるといいと思いました。

教育長 さきほどの授業の話ですが、恵那南高に劇団文学座の俳優の方、演出家の方、それから竹下景子さんが来て、演劇の授業があり、参観してきました。一番初めはエア縄跳びから始まり、格好だけで跳ばせる。それを、1回跳んでいくのを、今度は1人で4回跳ばせ、順番に、少し難しくしていく。その中に笑いが起きてきて、会話が起きてきます。

とにかく教育長訪問でも感じますが、先生は張り切ってよくしゃべっているが、子供が発言してない、あるいは相談したり、教え合ったりしていない。まずは子供たちに声を出させることを、させていかなくてはいけないことをつくづく思いました。

特に小学校です。自己肯定感が低いのがこの地域の子供たちの特徴ですので、声を出させて、自己表現をさせていくことからかなと思いました。

4 議案審議

教育長 それでは、議案第22号恵那市教育委員会会議等点検及び評価について、説明をお願いします。

事務局長 議案第22号恵那市教育委員会会議等点検及び評価について、資料に基づき説明。

教育長 評価についていかがですか。

委員 その他の事項で、総務文教委員と語る会ですが、Cの目標どおりでいいのですが、市長さんと語る会も、充実しており、指針が見えてきた。教育委員会としての動きもより明確になったと思いますので、Bでもいいと思います。

市長も文科省のパンフレットを印刷して配られました。しっかりやろうという気構えが分かります。それを普通といえば普通かもしれませんが、私たちもよく分かってきました。具体例を言っていくとBでもいいのではないかなと思います。

委員 いろいろと内部を詰めると何か足りないかなと思いますが、聞いてみると、ICTも他市よりも取り組んでいます。それから、コミュニティ・スクールの進み具合も、他市より一歩先を進んでいるように感じます。

昨年の反省で、自分が一番思い出に残っているのは、市P連の人たち、学校教育課が事務局ですが、前年のやり方を変え、恵那市のPTA連合会研究大会と名前を変えて、第1回を開催しました。

白川郷学園の水川校長の講話でしたが、保護者にも随分主体性ができて、いい会議でした。大勢の人には参加してもらえなかったのですが、中身はとてもよかったですし、来た人は本当に喜んで帰って行かれた。第1回の記念すべきPTAの研究大会が実施できたと思えました。

教育長 それもその他事項に追加させていただき、今言った評価にさせていただきたいと思いますが、よろしいですか。

委員 はい、結構です。

事務局長 それでは会議の実施状況がCで、調査活動等の状況とその他の事項はBということをお願いいたします。

教育長 はい、分かりました。

5 報告事項

教育長 報告事項第1号 空調設備整備事業について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第1号 空調設備整備事業について、資料に基づき説明。

委員 ちなみに、こういう運用指針でいうと、冬場の暖房にもありますか。

事務局長 暖房については統一した指針はありません。

委員 暖房用の指針はないということですね。それぞれの学校で、気温が何度以下になったからストーブたきましよう、何度になったからストーブ消しましようというのは、各学校で対応するということですか。

事務局長 各学校の判断で行っています。

委員 この指針を一通り読みましたが、お願い、何々してください、何々してくださいという言い方ですかね。

事務局長 最終的には学校の判断で行うことになります。指針は、原則を示したものになりますので、このような表現になっています。

教育長 このように使ってくださいとお願いをするということです。

委員 何々してくださいがやたらと多かったのです。丁寧なのか、何々しなさいという感じなのか。

また違いますが、9ページのことでいいですか。一番下の写真。状況写真ですが、左のこども園の写真は上についているのが分かります。右の写真は設置状況ですが、どこに設置してあるか、よく分からないのですが。

教育総務課長 写真に設置場所が示していなくて済みません。この建物、体育館なのですが、建物の窓ガラスの下に、横に細い管があるかと思いますが、今はこの管が下がってきて、道路のところを通過して、右側にある物が受電装置ですが、ここから電力が通って、道路の下を通過して配管が上がるようになっています。

委員 最初、恵那東中学校とか市街地からになるのではという話でしたが、この順番は、設置場所など立地条件なのか、何で決まったのか

教育総務課長 中学校は3学年の単学級で部屋数が少ないことと、施工業者の都合もあります。本来は小学校から早く付けてもらいたかったのですが、小学校は部屋数も多いため、学校と工事の日程調整したところ、教室内の工事は、夏休みに集中的に行いたいということでした。山岡中学校が3教室と特別教室が2教室の5部屋のため早い段階で付けていただきました。

日程のほうが、山岡中学校と明智中学校の工事を行う業者は岩邑小学校もとってみえます。山岡中学校と明智中学校の工事が終わった後、岩邑小学校に取り掛かるということで、小学校からなかなかかかってもらえなかったというところもあります。

委員 設置できたところから、学校の判断で暑かったら使えるということですか。

教育総務課長 はい、そうです。

教育長 その他よろしいですか。では報告事項第2号 恵那南地区の学校給食センターの統廃合について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第2号 恵那南地区の学校給食センターの統廃合について、資料に基づいて説明。

教育長 何かご質問はありませんか。

委員 保護者の説明会は、具体的にどなたが行かれますか。

事務局長 給食センターの職員が行います。

委員 こちらからは、ちなみにほかの説明会はいかがですか。

事務局長 保護者の説明会は、おそらく保護者全体の説明会ではなく、PTAの役員会などで行うことになると思います。給食運営委員会などでは、説明をし、ご意見を伺います。また、地元の説明会では、一般の方を集めて行うのではなく地域協議会の会議などで時間を設けていただき説明する形になると思います。

委員 センターで働いている人は、異動するのか。このまま働けるのか。

事務局長 3センターとも、東洋食品に業務委託をしているので、岩村以外の職場に異動してもらうということになります。

教育長 では、次へ進ませていただきます。報告事項第3号 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第3号 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致活動について、資料に基づき説明。

教育長 質問のある方はみえませんか。

委員 このオリンピックの事前キャンプは、カヌーはポーランドだけということですか。ほかのチームは来ないということですか。

事務局長 はい、ポーランドからも他チームと競合しないように要望を受けています。

委員 市との関連でいうと、以前、国体を開催したときに、子供たちがのぼりを作りましたが、今後もそういうことを考えてもいいですか。

事務局長 そういうこともありますし、せっかくみえるので、何か交流をするなど、これだけで終わらせずに、何かこれを機に交流ができればと考えています。

委員 例えばポーランドの民謡を、そばの小中学校の子が踊るとか、そういう歓迎もありますね。

事務局長 そういうこともあるだろうし、日本の民謡のほうが喜ばれるかもしれません。また、太鼓などもあります。今後、おもてなしを検討します。

委員 歓迎するということですね。

事務局長 はい。ただし、五輪の2-3週間前でありますので、大会に向けて最終調整をしている段階なので断わられることも考えられます。しかし、例えば大会が終わって、結果がでてから、報告に来ていただいて、その際に何か行うなど、いろんなことが考えられます。

委員 笠置峡を今後も更に広めていきますか。

事務局長 昨年度、ブルガリアで行われたボート世界選手権で、恵那市のブースを設けてPRしております。その際にポーランドのボートチームと名刺交換をしましたので、ボートチームは笠置峡の存在を承知していました。ポーランドのカヌーチームがボートチームに、日本で練習場は知らないかと問い合わせたところ、笠置峡の存在を知りメールで4月29日に視察したいと連絡がありました。日本では、恵那市と海津市の練習場及び東京の海の森水上競技場の3カ所を視察して行くものであります。恵那市では、笠置峡練習場、宿泊施設、まきが根公園トレーニング施設を視察されました。

その際の要望としては、河川にコースを設定すること、トイレやカヌー置き場までの階段の設置などがありました。大変好感触でありました。今後検討し、更に進めていきたいと考えています。

教育長 では、次に進みたいと思います。報告事項第4号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長

報告事項第4号 平成31年度教育委員会重点目標の進捗状況について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見ご質問はありませんか。

委員 笠置峡ですが、事前キャンプでポーランドのカヌーチームが2週間来ますが、ボートは、先ほどオリンピックの時期がずれているということでしたが、まだボートは決まっていないのですか。ボートはカヌーよりも前ですか、後ですか。

事務局長 7月24日の東京オリンピックの開会式後、すぐボートです。カヌーは8月9日の閉会式に近い時期、終盤ということで、ボートのほうが早く行われます。

委員 ポーランドのボートチームには営業活動がしてあった。それが期せずしてカヌーチームは、笠置峡にきたということですか。

事務局長 はい、そうです。ブルガリアの世界選手権の成果でありました。

委員 ポーランドのボートチームからのオファーはないですか。

事務局長 ボートチームは宮城県の長沼に決定しております。強豪国は多分もう出場が決まっていると思いますが、種目が多いと笠置峡では狭すぎると思います。

委員 カヌーはポーランドだけにしてほしいと要望があります。ボートチームはどこかがきて、カヌーチームはポーランドと、2つのチームが事前キャンプをすると思っていればいいですか。

事務局長 何カ国も受け入れができないので、調整する必要がありますが、それが限界だ

とっています。

委員 14ページの9番の進捗状況で、各校のいじめアンケートの中身について交流がありましたと記載されていますが、具体的にイメージがわからないのですが、どういうことでしょうか。

副教育長 いじめアンケートをどういう様式でやっているかということ各学校と交流しています。

委員 結果についての交流ではないのですか。

副教育長 多少あるかもしれませんが、どういう要件をアンケートに設けておくかという。結局規定のものがあるわけでもないものですから、学校それぞれ独自で作っているの、交流をして、よいところがあれば取り入れていくということです。

委員 もし重大な案件があった場合は、それぞれの学校から市教委にその都度報告があるわけですか。

副教育長 それはそうですね。各学校でも示されている、いじめ防止基本方針に沿って手続きはなされますし、それ以前の段階でも情報としてこちらには入ってきます。

委員 集団不適應児童生徒という言葉がありますが、カウンセラー、発達相談センターあおばや適應指導教室など、幾つかあると思います。どこが一番責任を持って取り組んでいるのか、一番状況を把握していて、次にちゃんとバトンタッチできる機関がイメージできないのですが。

それと関連して、幼児教育課でも、理学療法士から助言いただいたとか、医師から助言いただいたという説明がありましたが、全て子供の情報を把握して、責任持って次につなげる司令塔は副教育長ですか。

副教育長 実質、幼児教育課でいうと、幼児教育課の主幹が一番の中心となります。学校教育課は、同じように主幹が中心となり、その下に主担当がいますので、担当が一番情報を把握して、どうしようかということで、相談しながら対応している状況です。

ただ、不適應対応の一番中心になるのは学校なので、そこにこちらがアドバイスを、指導という言い方もできますけども、するしかない状況です。

委員 具体的に何かあればということですよ。

副教育長 そうですね。

教育長 責任とるのは学校教育課長です。

副教育長 はい。私です。

委員 でも、副教育長の立場では、子供の顔が実際見えていないのではないですか。

教育長 学校教育課長が教育・発達相談センターあおばのセンター長にもなっているので、報告が上がって判断をする。実際の対応はそれぞれの機関がやっています。

委員 それぞれの機関の横の連携は、システム化されていますか。

副教育長 縦横に結構いろんなラインで、一本線ではなく、いろんなラインで結ばれていますので、そこら辺を、学校関係でいうと学校教育課の主担当がかなり中心的に動いています。これはどうしたらいいでしょうかというときには、主幹や私などに相談があり、私も聞きながら、ここはこういうふうにしたほうがいいのか、1回、学校の誰に相談したほうがいいのか、このことはちょっと

- 話をしてもらったほうがいいとか、そんな話をしながら進めている状況です。
- 委員 支援が必要で、例えば医者に助言してもらったほうがいいという事の取り掛かりは現場の先生なり、保育士ということですか。
- 副教育長 そうですね。そこは、巡回相談をしながら、実際に子供を見て、先生から普段の状況はどうかということ聞きながら、少しこういうふうにしていきましょかなど相談して、子供に関してお医者様にかかっていたくには、どういうふうに保護者の方に話をしていこうかというところまでも相談をしながらやっています。
- 委員 いつでも専門の方に相談できるような体制はとれていますか。
- 副教育長 そこへ結びつけるような体制はとられています。すぐに相談できるかということ、それはなかなか難しいのですが、一応こちらのほうで段取りをとって、相談していただけるような体制はとれるようにはしています。緊急性のあるものについては、何とかそういう形にもできますが、順番待ちのようなこともありますので、難しいところもあるのですが。
- 委員 早い段階に支援が必要とか、病気と診断されてしまうような子が明らかに増えているというのは、先生の感覚ですが、今はどうですか。
- 副教育長 何とも言えませんが、今何かしら病名がつけられる傾向はあります。それも病気のなつて、私なんかの感覚でいうと思ってしまうほどです。そういうのを聞いて、私が今まで接してきた子の中にもそういう子がいましたが、そんなふうに思っていなかった自分がだめだったなと思い、そうか、そんなこと知らずに、やってはいけない例として示されていることを私はやってきたなと思いながら、ひたすら反省する日々が続きます。
- ですので、何でも病名がついてしまう傾向も何となく私はあるような気がして、ちょっとどうかとも思いますが、専門的な見地からそういう形で話がされますので、そういうものなのだろうなと受け入れるしかない状況ではあります。
- 委員 保護者は情緒不安定なども、何十項目もできています。知的障害も分野が広いので、ちょっとたいたたら、それは何とか症候群などにしてしまうため、保護者も困ってみえます。
- 余り保護者が神経質にならないように。そんなに心配しなくてもいい、ある程度おおらかに見ないといけない、おおらかに見てくださいという話をしました。
- 副教育長 上手に言わないと、お叱りを受けることもあるので、済みませんというしかないところがあり、難しいです。
- 委員 6番ですが、コミュニティ・スクールが大体進んできているということで、第1回を開催したのが15校ということですか。
- 副教育長 5月までですね。6月も何校かやっています。
- 委員 2校がもう終わっていないといけないのではと思いました。
- 副教育長 終わっています。
- 委員 17番の笠置峡のボートは、来年はオリンピックがあり世界トップクラスのポーランドが来て、環境整備も良くなり、駐車場もトイレもできますが、問題は、その後の施設利用の普及を考えていかなければいけないと思います。恵那

北中学校が統合するときに、ボート部をつくったらどうかと意見がありました
が、あの川ではできないし、指導者もいないということで、話自体消えてしま
いました。2020年の後、何かその辺のことは考えてみえますか。

地域の人たちが、ボート部をつくりたいような動きがある。指導者を招いてク
ラブを作れば、物すごく地域基盤が強くなってきています。教育長さんは何か
案を持ってみえるということを知ったのですが、どうでしょうか。

教育長 私のところへもクラブ化したらどうかという声や、クラブ化しようという声
が随分入ってきています。しかし恵那北中学校にボート部を作るには、学校が小
さ過ぎて支えきれないので、市全体の子供たちでクラブ化してという形になっ
ていけばいいと思っています。

先日、バローの60周年記念式典の際、伊藤財団の青少年育成で、申請してく
だされれば、ボートを買いたまおうと言ってくさっています。あとは指導者と、
もう一つ、笠置峡には川辺中学校と比べて大きな難点があります。

川辺は川のぎりぎりまで町の敷地になっていますので、川際に艇庫や、すぐ入
れる栈橋がつかますが、笠置峡の場合、河川敷は関西電力が管理しているため、
建物は建てられません。一番近いところで、恵那北中学校の敷地内に建てるこ
とになります。笠置峡まで下ろさなくてはいけないため手間はできてくる。
ボート部をつくれれば、横で併走するモーターボートや、置き場所の確保が必要
となります。

委 員 スポンサーがついてくれるということであればできますか。

教育長 スポンサーというか、申請してくれれば助成しますということです。

委 員 心強いお話しですね。船も競技用だと1,000万円と言ってみえました。河
川敷に置いて盗まれてしまってもいけないので、対策が必要である。しかし、
せっかくの機会ですので、子供たちに夢を託す、夢が持てるような環境をつ
くっていくのもいいと思います。

事務局長 また、誘致協議会の中では、サップという競技があり、サーフボードのよう
なものに乗って、立ってこぐものですが、現在は水上競技の中では一番人口が多
いということです。そのサップの大会を恵那市でやりたいということも話題が
ありました。いろんなことをやりながら、子供の参加できるようなことも行い
たいと思います。

副教育長 スタンドアップパドルボートといいSUPです。海で、湾の中で、波の静かな
ところでやったりするのが結構あります。ただ、少しでも波が起きると、中止
になるそうですので、笠置峡は向いていると思います。

委 員 ぜひ見てみたいと思います。

事務局長 サップの大会を笠置峡でやったらどうだろうと、話題が出でいます。一方
で、余りいろいろなことをしてしまうと、ボートやカヌーの練習に支障がおき
るとの懸念もあります。調整をし、検討していく必要があります。

教育長 ほかはいいですか。

委 員 中学校の再編のことで、先日、まちづくり懇談会では、何か質問とかはなかつ
たでしょうか。

- 事務局長 まだ明智と武並と2カ所ぐらいしか行っていないため、再編の話は出ていません。
- 委員 明智では最後に恵那高の生徒が発言して、意見が一番よかったと言っていました。
- 地域ボランティアの活動に参加したい気持ちはあるが、恵那方面の高校まで通っているため、地元でどんなことがあるのか分からない。参加できるものがあったら、ぜひいろいろ情報を知りたいという意見が出ていましたが、生徒に参加してもらおうと、保険などの費用や、責任など大変だと言っていました。再編も何か話が出ると、予算がと言われる空気なのかなと思いました。再編についてどのようなお話が出たか教えてください。
- 事務局長 市長と語る会は今年から形式を変えており、その地域のまちづくりにおいて、何かテーマを設けて、意見交換するようにしています。
- 今回、明智では、浪漫学園構想について、恵那南高校の同窓会会長さんが、話をされたと聞きました。余り中学校再編のことは、でなかったと聞いております。また、串原では、コーヒーなど飲みながら総勢20人ぐらいで囲んで行うと聞いています。半分ぐらい保護者の方が参加されますので、若い人たちの意見が聞けるとよいと思っています。
- 教育長 ほかいいいですか。
- 委員 ねりんピックですが、マレットゴルフを恵那市で開催する。会場はもう決まっていますか。
- 事務局長 はい。武並のマレットゴルフ場です。
- 委員 武並のマレットゴルフ場のホールは幾つもありますか。
- 事務局長 36ホールあります。恵那市には、マレットゴルフ場が全部で13カ所あるそうで、こんなにたくさんある市はないらしいです。そんなこともあり、マレットゴルフ協会が活発に活動してみえます。平成28年度の全国レクリエーション大会が岐阜県で開催され、そのときも恵那市がマレットゴルフ場の会場になり、飯地と笠置が会場になって開催されました。様々な大会をやる度に、会場は13カ所マレットゴルフ場があるので固定せず、いろんなところで開催しています。
- 教育長 ありがとうございます。
- それでは、次へ進めさせていただきます。
- 報告事項第5号 恵那市の園小中学校のトピック（7月）について、説明をお願いします。
- 副教育長 報告事項第5号 恵那市の園小中学校のトピック（7月）について、資料に基づき説明。
- 教育長 ご質問よろしいですか。
- 委員 はい。
- 教育長 報告事項第6号から各施設の利用状況の説明をお願いします。
- 事務局長 報告事項第6号 各施設の利用状況について、資料に基づき説明。
- 教育長 ご意見、ご質問はありませんか。

委員 スケート場のダイドーキッチンはテナント料はどうなっていますか。

事務局長 テナント料は県へ支払っています。光熱水費は市でもらっています。

委員 テナント料払いながら、営業ができるものですか。

事務局長 昼間は、弁当も出しているそうです。シーズン中は他店に応援を依頼し、他店と連携しながら経営をしてみえます。

委員 美術館の有料・無料の線引き、この数字は危険だというデータを持っていますか。分析はしていますか。

事務局長 年間入館料を800万円と想定し、それを基準にスポンサー料を決めております。現在はスポンサー料と入館料を合計するとそれ以上です。無料の入館者が増えていきますので、気にしております。美術館の理事会でも同じ質問があり、話題になりました。

委員 無料と知っていてツアーを金曜日に組んでくるのですか。

事務局長 そういう方も増えてきています。それが余り増えてくると、スポンサー料を見直すとか、制度自体をもう変える必要がありますが、まだそこまでの段階ではないと考えています。

教育長 いかがでしょうか。

事務局長、副教育長 では、報告事項第9号 その他 行事予定について説明をお願いします。

事務局長、副教育長 資料に基づき説明。

委員 7月22日に市子連のキャンプとこどもフェスタがありますが、子供の取り合いになりませんか。調整はできなかったのですか。

事務局長 どちらかというと、こどもフェスタは小学校低学年向けで、キャンプはリーダー向けで小学校5、6年を対象にということです。

教育長 20、21日は人気の日ですね。上矢作のモンゴル村でもイベントがあります。夏休みの初日のため、譲り合うとか、調整し合うことが難しい日になります。

委員 秋にある、11月8日の研究大会の準備はどうなっていますか。要はおもてなしだと思いますが、恵那市はいいねと思っていただけるといいなと思いますので。

教育総務課長 今月28日に事務局の方がいらっしゃいますので、内容を打ち合わせしたいと思っています。

委員 初回の打ち合わせですか。

教育総務課長 前年度は会場の確認にいらっしゃっています。

事務局長 何かアトラクションなど、ご要望はありませんか。昨年のお濃市では子供の劇みみたいなものとダンスでしたね。

教育長 串原の子供には声を掛けてあります。他に何かありますか。決定事項で言うてあるわけではないのですが、学校へは頼むかもしれないと言っておきました。喜んで引き受けてくださると言ってくれました。

事務局長 串原の太鼓は盛り上がると思います。

教育長 後援申請については27、28ページで、今回多くありましたが状況について、目を通しておいてください。

委員 申請許可の最後ですが、どなたかが本を出版されたのですか。

総務課長 熊たけしさんです。

教育長 あと、他にありませんか。

委員 はい。

教育長 次回教育委員会日程の確認

第7回教育委員会定例会を閉会いたします。

午後3時55分閉会を宣します。

令和元年6月24日

教育委員 西尾 修欣

教育委員 村松 訓子